

# 宮城県石巻市・震災復興学習支援 レポート⑦

## 私塾ネット 出前寺子屋 「漢検合格講座」

### 平成23年度第2回検定・第1期生18名中17名合格の快挙!

#### ◆活動報告その⑦[2011年11月20日]

11月20日、7回目のスクーリングを実施した。今回の活動に参加した私塾ネットメンバーは、一都三県から集結したなんと10名。神奈川から中村直人さんと中村庸彦さん(中村学院)、東京から渡辺浩さんと内川さん、三井さん(渡辺塾)、埼玉からは梶原賢治さん(朝日学習館)、監物一男さん(向学館)それに大住敬明さん(聖学舎)、そして千葉からは谷村志厚と和枝の2名である。さらに月刊私塾界から取材陣として山田副社長とライター松見さんが加わる。そして地元の支援者木伏氏を合わせると総勢13名という大所帯となった。

渡辺塾のメンバーは赤羽から車を走らせ、私塾界の方々は仙台からレンタカーを利用し、そして残りのメンバーは新幹線と東北本線を利用し、午前10時48分にJR松島駅に到着した。ここで合流した木伏氏の車を先頭に、東松島市の野蒜地区、石巻市の門脇地区といった津波被災地を巡った。初参加の皆さんには、まず津波被害の甚大さを実感したうえで、指導にあたっていただくのが通例となっている。

「出前寺子屋」の会場である仮設開成11団地集会所に入ったのは、午後1時を少し過ぎた時間であった。急ぎ教室づくりにとりかかる。今回はスタッフが多いのであつという間に「出前寺子屋」の完成である。昼食の駅弁を食べながら打ち合せ、そしてそれぞれ役割を分担して、7回目の出前寺子屋の授業の始まりとなった。

本日の受講生は第2回検定を受検したメンバー18名中15名、それに非受験組の5名を加えて20名であった。まず15名の皆さんにはご自分の答案のコピーを使って自己採点をしていただいた。ご自分で丸付け採点したものを、こちらで内部採点していた解答に照らし合わせ、予想得点を得ようという訳である。



自己採点のアドバイスを大住先生

できるだけ辛目の採点をお願いをしたのだが、集計の結果は平均点が176点(200点満点)と飛び抜けた成績である。140点のボーダー上にあるのはお一人のみ、残りはすべて150点を超える好成績で、全員合格の快挙も夢ではなくなったのである。

とまあここまで書いたところで、25日、インターネットで合否結果が発表された。その結果は標題通り18名中17名の合格であった。心配していた3級受験者のMさんが、合格点に3点足らぬ結果となってしまったのだ。まことに残念だがMさんには、次の機会には準2級に挑戦していただくと思う。合格者の内訳は別表の通りである。

自己採点会の最後に今後の希望をお聞きした。2級合格者はこれで卒業だが、準2級以下は次回以降上位の級位に挑戦をするか否かの意思を尋ねた。すると15名中11名が継続を希望し不明としたものが2名であった。欠席者の3名を加えると5名が継続未定者となっている。

小中学生の皆さんには今回初めての試みとして、個別形式の学習指導プログラムを実施することとした。そのために中3生は5教科合本、中1、2生は3教科合本の冬期テキストを、小学生には算数、国語2科のテキストを提供した。中村、三井、内川さんら若手スタッフに個別指導をお願いしたが、そんな中に



個別指導を担当した内川先生、奥は中村直人先生。後方では谷村が頼もしい見守る。

ずいぶん前に若手を卒業された、中村直人先生が関わっていたのはほほえましい風景であった。今回は生徒さんはわずか5名、学習時間は1時間程度だったが、学ぶ側と指導する側がともに新鮮な気持ちで取り組み、充実した勉強ができたのではないだろうか。今後の展開が楽しみである。

#### 出前寺子屋 in 石巻「漢検合格講座」の仕組み

活動期間：2011年8月16日～2012年2月4日

##### ①説明会&級位判定もぎテスト

第2期生募集のための説明会を12月11日に実施。

##### ②スクーリング

8月16日、9月4日、18日、10月2日、16日、11月5日、20日、12月11日、24日(いずれも14:00～16:00)  
2012年1月以降も継続実施。

小中学生には学習指導も同時実施。

##### ③会場 仮設開成ささえあい拠点センター集会所(8回目以降)

##### ④漢検受検

第2回検定11月5日、第3回検定2012年2月4日。

##### ⑤受講対象者 仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民。

##### ⑥受講者特典

- ・教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料。
- ・小中学生は個別学習指導が受けられる。

学習の後の課外活動は、和枝先生の指導によるフラワーアレンジメントだ。25名分の生花や花器材料を千葉から持ち込むので、その準備は大変なのだが、大好評企画なので本人は張り切って準備に励んでいる。老若男女入り混じっての取り組みだが、みなさん楽しそうに、熱心に取り組んでおら



「課外活動」を取仕切る谷村和枝先生

れた。「生花は心のセラピスト」が彼女の信念だが、まことにその言葉通り、完成した作品を前に皆さんの表情はそれぞれ穏やかで和やかであった。

この日のもう一つのプレゼントは愛媛から届けられたみかんであった。これは谷村の実家が栽培するもので、この日のために愛媛から石巻に送られてきたものだ。参加者全員にお一人5個ずつお配りし召し上がっていただいたのだが、皆さん口々に甘いね、美味しいねと喜んでいただいた。愛媛のみかん農家の出身者としては大変嬉しいことである。

#### 23年度第2回漢字検定合格者内訳

2級 - 2名、準2級 - 2名、3級 - 8名、4級 - 3名、6級 - 1名、7級 - 1名(小中学生7名、一般10名)



小中学生の皆さんはアレンジメントの花を手に、後方には11名の支援スタッフ。

報告: AIM学習セミナー 谷村志厚(写真提供: 私塾界)

主催: 全日本私塾教育ネットワーク(略称・私塾ネット)